

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 14 日

事業名称		成人式事業費 [成人式事業]									
予算科目	款	10	教育費	項	4	社会教育	目	1	社会教育総務費	事業番号	4
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	社会教育 課 生涯学習 係					課長名	高田 匡章				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	1 - 3		
【施策名】 青少年の健全育成								総合計画書(ページ)	38		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	平成12年4月2日から平成13年4月1日までに出生した市内の新成人					市内新成人の人数(対象新成人数)					
	→										
1 この仕事の目的	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
	東大和市の成人式に参加することで、成人としての責任を自覚するとともに郷土愛を醸成する。					市内新成人のうち、成人式への参加者数					
	→										
1 この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、成人式会場での感染防止策を講じた(2部制での実施、会場の密を防ぐ設営、消毒液の設置等)また、例年実施している実行委員会による催し物は、動画配信とし、実行委員会で新成人に向けた動画を作成した。第2回実行委員会終了後は、感染拡大防止のため、会議形式は取らず、実行委員と事務局間でメール等のやり取りにより動画の作成を進めた。					①準備事務の回数 ②成人式実行委員会の開催回数					
	→										
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標			
	対象指標	①の数値	人	797	840	855					
	成果指標	②の数値	人	533	549	0 (開催中止)					
	目標	②の目標値	人	569	589	0					
		目標値設定の考え方 前年度の人数(数値)を超えることを目標とする。									
活動指標	③の数値	回	① ②6	① ②5	① ②2						
3 経費	事業費(実績)		円	1,000,934	1,010,047	508,030	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	1,000,934	1,010,047	508,030					
		特定財源(国・都・他)	円	0	0	0					
		(うち受益者負担)	円	0	0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.3	0.3	0.3					
		所要人数(再任用)	人								
		職員人件費(再任用以外)	円	2,473,200	2,493,000	2,514,000					
職員人件費(再任用)	円										
事業費+人件費		円	3,474,134	3,503,047	3,022,030						
4 環境変化等	(1) 開始年度		昭和27年度頃								
	(2) 環境の変化		平成16年度から実行委員会方式を採用し、式典の第2部を新成人の企画で進行していたが、年々実行委員の確保に苦慮したため、平成25年度からは、市内各中学校からの推薦により実行委員を確保している。また、開催年度によっては、新成人の態度に問題があり、式典が荒れることがあった。そこで、平成29年度から警備会社等による警備体制の充実や警察署員による見回り等を依頼する等の予防策をとっている。令和2年度については、2分割制での式典の実施等の新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じて実施する準備を進めていた。しかし、感染者数の増加、緊急事態宣言の発令等の理由から成人式の開催を中止した。また、令和4年には「民法の一部を改正する法律」の施行が予定され、成人年齢が18歳に引き下げられることとなったが、当市では成人式の実施は、「その年度内に20歳になる者を対象とすること」を決定し、市民に周知を行った。								

事業名称	成人式事業費 [成人式事業]			
担当部署・課長名	社会教育	課	生涯学習	係 課長名 高田 匡章

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 成人式の中止について多くの苦情が寄せられた。
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ <input type="checkbox"/> 取り組まない
	取組手法：② 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 引き続き実行委員会を組織し、成人式のあり方について、新成人の意見を多く取り入れていく。
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容(「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記) 今後とも実行委員会形式を継続していくのであれば、中学卒業時に未来の委員を決めてもらうなど、委員を確保する工夫が必要となる。 また、第2部の催し物自体を廃止することも検討したい。
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。 会議形式での実行委員会での開催は第2回までとし、それ以降は実行委員と事務局間で、メール等オンラインでのやり取りのみとした。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、会議回数を減らしたものではあるが、実行委員にとっても、会議参加に係る負担が軽減されたと思われる。
	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) 実行委員の作成した動画について、個人情報の取扱いや内容についてルールや注意事項をまとめ、実行委員に明確に伝えることが重要
8 施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)	施策名： 青少年の健全育成 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名()
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など) <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 ①民法改正による成年年齢引下げに伴い、令和4年度以降の成人式の対象となる年齢について周知を行う。 ②新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じた成人式の内容について、引き続き検討する。
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等
	①市報、ホームページ、ツイッター、フェイスブック等の媒体を活用し、周知を図る。 ②今年度に予定していた実施方法を元に、国・都のガイドライン及び他市の事例等を参考に、安全な実施方法を検討する。